

# 樹木に親しむためのポイント

## 1 はじめに

長野県は南北に長く、標高差も大きいので、生育している植物は非常に種類が豊富です。

「長野県植物誌1997」によると、本県に生育している植物は、木本類601種、竹・笹類47種、草本類2,130種、合計2,778種にも及びます。

このうち、私たち森林・林業に関する業務に深い係りを持つ植物は主に木本（樹木）です。また、多くの樹木の中から、林業で造林される針葉樹や有用広葉樹などに限定すれば、樹種の数はかなり少なくなります。

しかし、たとえ数十種とはいえ、慣れないと簡単には覚えられません。そこで、主な樹種の見分け方についてのヒントをいくつかご紹介します。

## 2 樹木の見分け方の基礎

樹木を正確に分類するためのポイントは「花」です。

でも、花の咲いている時期はごく短期間で、大半は数日から数週間です。

それ以外の季節は花で見分けることはできません。そのかわり、もっと便利な方法は「葉」をみることです。

「葉なんてみんな同じに見える」というご意見もあるでしょう。でも、ちょっとしたポイントを覚えるだけで、葉を見分けることができるようになります。

### 1) 葉の形

葉の形はたくさんあるように思われるでしょうが、広葉樹で4種類、針葉樹で2種類に大別されます。ただし、おなじみのイチヨウはどちらにも含まれません。

#### A 広葉樹

##### (1) 単葉・複葉

① 単葉 - 葉身（1つの葉の面）が1枚からなる葉。不分裂葉と分裂葉に分けられる。

○ 不分裂葉 - 葉身に切れ込みのない葉

例 サクラ類、ケヤキ

○ 分裂葉 - 葉身に切れ込みがある葉

例 カエデ類、ヤツデ

② 複葉 - 分裂葉の切れ込みがさらに深くなり、葉身が複数に分断した葉。分断した小さな葉を小葉と呼ぶ。

○ 掌状複葉 - 小さな葉（小葉）が掌のように1箇所から出て、1枚の葉を構成する葉

例 トチノキ

○ 羽状複葉 - 小葉が羽のように並んで1枚の葉を構成する葉

例 ニセアカシア

### ③ 単葉と複葉の見分け方

単葉の付け根には芽がありますが、小葉にはありません。複葉には小葉がついている軸（葉軸）があり、落葉するときには小葉も葉軸もセットで落ちます。

#### B 針葉樹

○ 針状葉 - 針のように細くてとがる葉

例 カラマツ、アカマツ

○ 鱗状葉 - 小さな鱗のような葉

例 ヒノキ、サワラ

ここまでお話したことを整理してみると、図-1のようになります。

図-1 葉の見分け方



### 2) 葉のつき方

葉のつき方には決まった規則があります。その配列を葉序といい、次の2種類に分けられます。

①対生 - 2枚ずつ対になってつく。

例 カエデ類、ハナミズキ

②互生 - 1枚ずつ交互につく。

例 サクラ類、シラカンバ

### 3) 葉縁の形

葉の縁を葉縁といい、次の2種類に分けられます。ただし、1枚の葉に両タイプが見られる樹種もあります。

①鋸歯縁 - 鋸の歯のように縁がギザギザになった葉

例 サクラ類、カエデ類

②全縁 - 鋸歯がなく、縁はなめらかな曲線を描く葉

例 カキ、ハナミズキ

### 4) 落葉樹・常緑樹

①落葉樹 - 冬に全ての葉が落ちる樹木

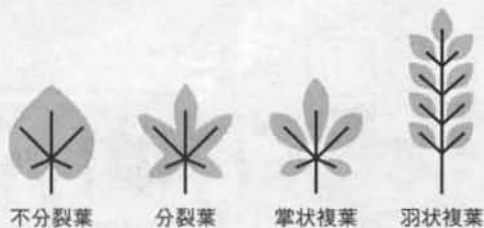
例 サクラ類、カラマツ

②常緑樹 - 一年中葉がついている樹木。ただし、葉は随時生え変わる。

例 ヒノキ、スギ

ここで、これまでお話してきた葉の形などを模式的に表してみます。

図-2 葉の形の模式図



### 3 主な樹木の見分け方のポイント

これまで説明してきたように、単に1枚の葉であっても、ちょっとした点に注目するだけで、様々な違いがあることがお分かりになったと思います。

また、「科」や「属」に共通の特徴があったり、一見同じに見えても「種」毎に微妙な違いがあったりしますので、仕事やレジャーで山へ出かけた折などに、ちょっと樹木の葉に目を留めてみてください。

今までと違った森林の姿が見えてくるでしょう。

では、ここで主な樹木の見分け方の具体的なヒントをいくつかご紹介しましょう。

#### (1)クヌギ・クリ

○クヌギ - 鋸歯の先はトゲ状になり、緑色がぬけて白色

○クリ - 鋸歯の先が、トゲ状になるが、クヌギより小ぶりで先端まで緑色

#### (2)コナラ・ミズナラ

○コナラ - 鋸歯は大ぶりだが、葉身はミズナラより小さく、葉柄は約1cm

○ミズナラ - 鋸歯は目立って大きく、葉柄はほとんど目立たない。

#### (3)ヒノキ・サワラ

○いずれも葉の裏面に白い模様があり、これは気孔の集まりである。ヒノキはY字形、サワラはX字形

#### (4)ニセアカシア (ハリエンジュ)・エンジュ

○ニセアカシア - 小葉の葉先がわずかにくぼむ。

○エンジュ - 小葉の葉先はとがる。

#### (5)カエデ科

○一見してカエデの仲間に見えなくても、カエデ科はすべて葉が対生。逆に、カエデに似ていても、葉が互生ならカエデ科ではない。

#### (6)モミ属・トウヒ属

○モミ属 - 枝から直接葉が伸び、球果は上を向く。

○トウヒ属 - 枝と葉の付け根に葉枕が発達し、球果は下を向く。

### 4 おわりに

まだまだ、興味のある見分け方があります。ぜひ、図鑑やインターネット等でお確かめください。

(指導部 松村 久)

#### 《参考文献》

林 将之「葉で見わける樹木」小学館

馬場多久男「葉でわかる樹木」信濃毎日新聞社